

## 中央アルプス縦走路のオアシス

木曾殿山荘 澤木 龍一郎さん



### Q1. 木曾殿山荘の名前の由来を教えてください。

木曾殿山荘は、中央アルプス縦走路のオアシスとして、空木岳と東川岳の鞍部である「木曾殿越」に建っています。木曾義仲が上洛前に、木曾郡原野から兵を挙げて伊那谷の高遠城へ奇襲をかけた際、空木岳を目指して越えた峠が「木曾殿越」だそうです。山小屋を開業した祖父が小屋の名付け親です。登山者の方からも「名前の由来は木曾義仲ですか?」「カッコいい素敵なお屋名ですね」「木曾義仲はこんな厳しい所を越えて行ったんですか?」などと声をかけていただき、会話が広がることもあります。私自身も小屋の名前に強い愛着と誇りを感じています。



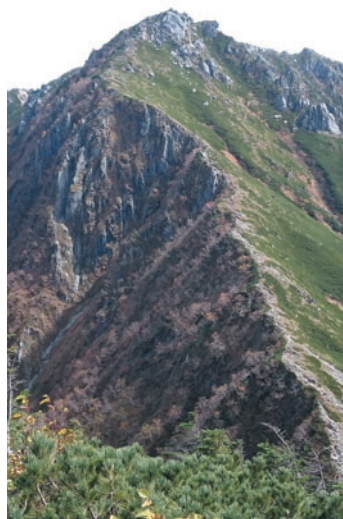
### Q2. 山小屋の特徴、また、名物を教えてください。

山小屋は、昭和40年6月に完成しました。大型ヘリコプターで上松町のヘリポートから建設資材を荷揚げしたそうです。定員は最大で30人。山荘からはハケ岳、南駒ヶ岳の遠望が楽しめます。夏場は山荘から日の出も見られます。夕食は、圧力釜で炊く「山菜の味ごはん」と「おでん」が、60年以上続くメニューです。長年変わらない「山菜の味ごはん」を楽しみにして来てくださる方も多いです。古い山小屋ですが、午前中いっぱい掃除の時間にあて、清潔を心がけています。ごはんまりした山小屋なので、登山者同士の会話が生まれやすく、温かい雰囲気があると思っています。



### Q3. 空木岳はじめ、山域の特徴や魅力、 おすすめポイントを教えてください。

空木岳の魅力は、小屋から見上げると落ち着きのあるどっしりとした山に見えたり、時には荒々しい激しさをもつ山にも見えたりすることです。山小屋からは、第1ピークまでしか見えませんが、約300メートル一気にあがる登山道は圧巻です。天気の良い日は視界が開け、頂上からは富士山まで見えます。稜線上からは木曽谷と伊那谷両方が見えます。稜線を歩きながら、中央アルプスらしい雄大な景色の変化を感じられます。高山植物も美しく咲いています。山荘より片道9分の所にある水場「義仲の力水」もおすすめポイントです。



空木岳

### Q4. 山小屋の機能維持に 随分、苦勞があるのではないですか。

標高2,587mの高所にあるので、暴風雨や冬季の積雪への対策は常に気にしています。特に冬の間に受けたダメージを春先に確認し、屋根や外壁、それに設備の点検と補修を行う作業は大仕事です。資材の運搬もヘリコプターに頼るため、簡単ではありませんが、毎年、丁寧にメンテナンスを行っています。2025年から3代目として山小屋を引き継いだのですが、正直なところ不安もあります。コロナ禍の後、定員が80名から最大でも30名になってしまい、天候が悪い月などは、かなり経営が厳しいです。しかし、祖父や先代が守り続けてきた場所を自分の代で途切れさせてはいけないという強い責任感もあります。長年、親しまれてきた山小屋の雰囲気や信頼を大切にしたいうえで、時代に合わせて少しずつ工夫しながら、登山者が安心して過ごせる場所を守り続けていきたいという思いです。

### Q5. 登山者の様子も少しづつ変わってききましたか？

最近では、天候が悪い日に予約のお客様が到着しなかったり、パーティーがバラバラになって到着したりすることもあります。また、到着時間を大幅にオーバーして消灯間際に到着するケースもあります。特に海外の登山客に多く見受けられます。それでも「食事がおいしい」とか「小屋が清潔」といったお言葉を頂いたり、「縦走路が長いのでここに小屋があって本当に助かりました」と言ってもらえたりすることが日々のヤル気になっています。

### Q6. 安全登山で心がけていることを教えてください。

きわめて軽装備の日帰り登山者や悪天候にも雨具を持たない登山者が増えています。山に携わる者として登山者の安全を第一に考え、危険につながる行動や他の登山者に迷惑がかかる場合には、できるだけ丁寧に声をかけるようにしています。煩わしく思われても注意喚起を怠ってはいけないと強く感じています。天候が悪くなりそうな時は登山をあきらめる判断をすること。体力を過信せず、無理をしないこと。稜線では携帯電話がつながることがあるのでうまく活用すること。事前の情報収集と装備の準備をしっかり行い、余裕を持った行動を心がけることで、楽しい登山につながると思います。

木曾殿山荘



## 南アルプス聖岳・光岳の前線基地

聖光小屋 仲山 岳典さん

### 徐々に進む登山環境整備

南アルプス南部は登山口までのアプローチが長く、日本アルプスの中では入山者の少ない山域です。以前は玄人好みの山として主に熟練の登山者が足を踏み入れていました。近年は駐車場や登山道が整備されたこともあり、百名山の聖岳と光岳を目指す登山者の入山が増加しています。昨秋、道の駅の温泉施設がリニューアルオープンし、下山後の楽しみが増えました。



イザルガ岳(手前)と深南部の山々(写真:大蔵喜福)



下栗の里より 左から死岳、聖岳、上河内岳、茶臼岳

### 手つかずの大自然に抱かれて

聖岳は国内最南端(富士山を除く)の三千メートル峰です。急峻な登山道には深海に堆積した赤色チャートが多くみられます。これが赤石山脈の名の由来です。光岳は国内最南端の二千五百メートル峰。ハイマツは世界の南限で、ライチョウも生息しています。易老渡登山口から2時間ほど登った面平にたたずむと、原生林の大木に畏怖の念を覚えます。

その他、おすすめは、聖岳から光岳への縦走

です。上河内岳北稜の草紅葉、さらに南下して茶臼岳・仁田岳に至る牧歌的な雰囲気、イザルガ岳山頂からの太平洋と富士山の景観など、南アルプス南部の雄大さを楽しむことができます。

健脚者には、聖岳から北上する赤石岳への高低差が非常にきつい縦走や、光岳から池口岳に至る間の本州唯一の原生自然環境保全地域を歩くことをお勧めします。

### 前泊の宿 聖光小屋

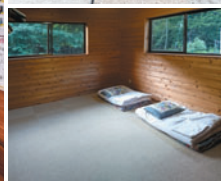
聖光小屋は、芝沢駐車場から7km上流の便ヶ島森林公園に建つ、個人経営の小さな山小屋です。安全登山に寄与したいとの思いから、休業していた小屋を引き継ぎ、2022年に再開しました。光岳小屋まで7時間30分、聖平小屋まで5時間30分の地にあります。

2025年の宿泊者は、前泊が9割、平均年齢61歳、男性56% (女性44%) でした。開業当初に比べ、光岳登山の前泊者が年々増えています。

## 両親の代わりに 聖岳と光岳に登る

ある年の10月末の朝6時、小屋の掃除を始めかけたとき訪問者あり。40代と思われるスポーツマンタイプの背の高い男性がリュックを背負ったまま玄関に立っていた。「これから聖岳ですか?」と聞くと、「去年、両親が光岳へ向かう途中で行方不明になって遺体で発見されました。百名山の完登を目指していて、光岳と聖岳で百座達成のところだったのです。だから、二つの山には自分が代わりに登ってあげたいと思い先月、光岳に登りました。きょうは聖岳に登ります。両親を亡くしてから聖岳と光岳に登るために登山を始め、他の山にも登って経験を積み、情報も収集して来ました。一年たってしまいました」と静かに話してくれた。この登山者の両親は、前年夏に易老渡から光岳登山をする計画だったが、予定日を過ぎても帰宅しないため、家族から捜索願が提出された。県警救助隊、県警へり、私が所属する地元遭対協による捜索でも発見されず、一か月後に登山道から外れた易老沢の崖下で遺体で発見されたのだった。「仏前に備えたいので記念になるものを頂上まで持っていきます」と言って、聖岳のピンバッジを購入してくれた。

翌日、無事下山して小屋に立ち寄ってくれた青年に、「また、いつでも来てくださいね」と声をかけた。



## 落石と道迷いに注意 ご安全に!

一帯は年間4ミリ隆起しており、遠山川は日本一の変動渓谷と称されています。そのため、崩落やがけ崩れが多く、林道の通行には注意が必要です。また、入山者が少ないオフシーズンには一日中登山者と出会わないこともあります。標高が低い地点は携帯電話の通信圏外です。オフシーズンの入山にあたっては、単独登山を避ける、登山計画書を提出する、ビバーク装備を携行するといった基本を守ってください。南アルプス南部遠山郷の山を愛する私ども一同、多くの皆様のご来郷をお待ちしています。どうか皆様「ご安全に!」



県警救助隊の皆さんと

聖光小屋

